

氏名	矢野 哲也	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	病理検査学、細胞診断学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1997年埼玉県立衛生短期大学衛生技術学科、2012年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程、17年東京医科歯科大学保健衛生学研究科博士後期課程				
経歴	1997年国家公務員共済組合連合会虎の門病院病理部 臨床検査技師、2011年慶應義塾大学医学部電子顕微鏡研究室 技術員、18年埼玉県立大学保健医療福祉学部 准教授				
所属学会（役職）	日本臨床衛生検査技師会、東京都臨床検査技師会（役員選出委員）、埼玉県臨床検査技師会、日本病理学会、日本臨床細胞学会、日本顕微鏡学会、医学生物学電子顕微鏡技術学会、日本臨床検査学教育協議会				

【2022年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名
1	3. 電子顕微鏡	単著	なし		Medical Technology, 第50巻(第13号), 1485-1491	○矢野哲也
2	体腔液を想定した人工液状検体における形態学的細胞変性に影響を与える要因についての一考察	共著	あり		保健医療福祉科学, 第12巻, 23-30	○矢野哲也、小野崎桜、関野仁美、岸美帆、内山雅之、安藤克之
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	体腔液細胞診における低真空走査電子顕微鏡を用いた形態学的細胞解析	共同		第71回日本医学検査学会（大阪、オンデマンド）	○内山雅之、矢野哲也、井原寛子、副島友莉恵	2022.5
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	病理検査学Ⅰ	○	15	2年次生を対象に、病理学各論（循環器、呼吸器、消化器など）、病理検査学について講義を行った。		
2	病因病態検査学		2	健康福祉科学専修大学院博士前期課程1年次生を対象に電子顕微鏡を用いた研究法について講義を行った。		
3	がん病態生理学		1	看護学専修大学院博士前期課程1、2年次生を対象にがんの病理学について講義を行った。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	病理検査学Ⅱ	○	9	3年次生を対象に、細胞診検査についての講義、標本作製実習、標本観察実習を行った。		
2	検査総合演習		1	病理検査学に関する国家試験対策のポイントを解説した。		
3	臨床検査基礎演習		8	1年次生を対象に実習先病院の見学付き添い、病理組織標本観察を通して病理検査学の基礎を学ぶ実習を行った。		

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	病理検査学実習Ⅰ	○	24コマ	2年次生を対象に、ブタ臓器を用いた切り出しから標本作製を行い、病理組織標本作製の基礎を実習した。
2	病理検査学実習Ⅱ	○	22コマ	3年次生を対象に、病理組織標本作製における応用的な検査法（特殊染色、免疫染色など）を実習した。
3	臨地実習		2022.9～2023.3	1施設の担当教員として実習指導を行った。
4	ヒューマンケア体験実習		2022.4～9	1施設の担当教員として実習指導を行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.3～2022.12	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文	2022.4～2023.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	東京医科歯科大学 非常勤講師	2022.10	病理検査学 電子顕微鏡分野の講義 1 コマを担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	一般公開講座 生命科学体験教室 血液一滴からわかること	埼玉県立大学	小学生を対象に血液像の鏡検指導や血液型検査の実習を行った。	2022.7
2	一般公開講座 生命科学体験教室 魚の顕微鏡標本を作ろう	埼玉県立大学	小学生を対象にシラスを用いた骨格標本の観察実習を行った。	2022.7
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	公益社団法人東京都臨床検査技師会	役員選出委員		2021.6～2023.5
2	日本臨床検査学教育協議会	正会員校議決権者、連絡担当者		2022.4～2023.3
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	PCLジャパン	細胞診検査業務を検査センターで行い、地域医療に貢献した。	2022.4～2023.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会 委員		2022.4～2024.3
2	学科等における委員会等	検査技術科学専攻教務担当		2018.4～2023.3
3	大学広報活動	オープンキャンパス病理検査担当		2022.6～2022.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	該当なし			